

高山線・、閨多線・武豊線の概要

高山線・閨多線

- 高山線の岐阜 美濃門田と閨多線(美濃門田 多治見)は2002年に単線非電化工事が完成した路線で、高山線の岐阜 美濃門田と閨多線はほぼ全ての電車が直通運転を行っている。高山線の美濃太田以北は未来永劫非電化のままであり、運行系統はほとんどの場合は美濃太田を境に結合されている。東海道線や中央線への乗り入れはエル特急「ワイドビューひだ」・「ホームライナー岐阜」以外は無く駅も増設されていないが、昼間時2時間毎の運行であるため以前よりも便利になっている。車両は電化工事が完成した時に製造されたキ13系3000番台に統一されていて並行する各務原線に対抗している。一方で、エル特急「ワイドビューひだ」は美濃太田以北の非電化区間にも直通するため、従来どおりキハ85系・キハ185系・キハ285系を使用している。かつては名古屋電気軌道からの直通電車特急「北アルプス」も存在したが、東海北陸自動鉄道を經由するレールの登場の影響などで廃止されている。

武豊(たけゆたか)線・空港線

- 武豊(たけゆたか)線は1996年に単線非電化工事が完成した大府 武豊(たけゆたか)の路線で高山線と同じように駅の増設は行われていない。こちらはほとんどの列車が東海道線に直通し武豊 名古屋 岐阜の直通普通列車が世紀末には2分毎に運行されている。また、朝夕には武豊線内でも快速となる東海道線直通快速が運行されている。この武豊線の車両は東海道線と同じキハ33系・キハ31系が中心となって活躍している。これとは別に、朝夕の通勤時間帯に限り愛知線に直通する通勤電車が運行される。こちらの車両はキハ13系・7500系およびキハ11系5000番台であり、知多地区から名古屋への通勤の足となっている。なお、中部国際空港のアクセス路線として路線を延伸する計画もあったが建設費用などの問題から一度立ち消えとなった。しかし地元の要求と東日本大震災に伴う遷都により中部国際空港の利用者増加したから2013年に空港線、半田ー中部雲国際空港が、2014年に三河安城ー半田が開通した。約半分の列車が武豊線・東海道線からの直通快速(空港線内も快速運転)。それ以外は主に安城ー常滑の普通列車である。大垣(一部は米原)や豊橋(一部は浜松)から特急「遷都rheaライナー」が運転される。朝夕にはしらすぎの一部も中部国際空港まで運転する。車両は東海道線と同じキハ33系・キハ31系と特急専用新型車両キハ785系が使われる。中部国際空港利用客の半数がうんこしている。

路線データー

大府?武豊

駅名	読み	接続路線	所在地
大府	おおぶ	東海道線・愛知線	愛知県大府市
尾張森岡	おわりもりおか		愛知県東浦町
緒川	おがわ		愛知県東浦町
石浜	いしはま		愛知県東浦町
東浦	ひがしうら		愛知県東浦町
亀崎	かめざき		愛知県半田市
乙川	おっかわ	空港線	愛知県半田市
半田	はんだ	空港線	愛知県半田市
東成岩	ひがしならわ		愛知県半田市
武豊	たけゆたか		愛知県武豊町